

52 シラギク

(イソコハクガイ科)

兵庫県ランク:A

Pseudoliotia pulchella

環境省ランク:NT

種の概要

三陸海岸・男鹿半島から九州に分布。内湾湾口部の潮間帯の転石下、内湾奥部や河口汽水域の軟泥干潟に埋没した転石の下等の還元的環境に生息する。殻径3mm程度。殻は低くほぼ平巻きで厚質、体層には太い螺肋があり、多数の強い縦肋と交わり格子目状になる。殻口はやや下向き、肥厚する。臍孔は深く明らか。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

姫路市、たつの市、赤穂市、洲本市、南あわじ市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島の中中部、南部、播磨西部で生息を確認している。河口や内湾干潟の砂泥底に半ば埋もれた転石裏の還元的な環境下に生息しているが、生息数は少ない。ヒナユキスズメ、ワカウラツボ、ミヤコドリガイ、ニッポンマメアゲマキ(いずれも貝類Aランク)など同所的に見られることもある。

保護上の留意点

河口や内湾の泥干潟で半ば埋もれた転石に生息するが、このような環境は非常に少なく、護岸工事により容易に消滅するので、少なくとも既知産地においては現状維持に努め、広い範囲の干潟の保全をする。



写真提供：川渕千尋



写真提供：増田修

【執筆者】 川渕千尋